

# 2017NAVI ドイツ海外キャンプ報告書

## (第 25 回ドイツ・ケーニヒ杯)

報告者 齊藤三枝子

- 1、派遣期間 : 2018年 平成30年3月4日(日)～13日(火)
- 2、開催地 : ドイツ国、ハレ市
- 3、日本選手 : 選手 8名

団長・総務・コーチ 齊藤三枝子 (引率)  
 添乗員 石上由香里 (引率)  
 ドイツ在住 通訳 桂川 茜

合計 11 名

### 4、日程

月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	予 定
3月4日 (日)	東京(羽田)集合 羽田 発	10:45 12:45	LH715	集合場所(国際線カウンター中央)
	ミュンヘン着 ライプチヒ着	16:45 18:50 19:45	LH2170 ハレ協会送 迎車	直行便ミュンヘンへ 所要時間約12時間 国内便ライプチヒへ ハレ市フェンシング協会バスでハレ 市内ホテルへ
3月5日 (月)	ハレ市内	10:00～ 15:00	電車	昼食:ヘンデル広場にてイタリアン ホテルへ戻る ハレ市トレーニング会場で練習 ホテルへ戻る
		17:30～ 20:00	電車	夕食:田舎料理店
3月6日 (火)	ハレ市内	9:20～ 13:00	電車	スポーツ施設にてハネスコーチ指導 昼食:トマトソースのパスタ弁当 ホテルへ戻る スーパーで買い物
		15:30～ 19:00	電車	ハレ市トレーニング会場で練習 ホテルへ戻る 夕食:電車に乗りマック店
3月7日 (水)	ハレ市内	6日と同じ	夕食を持参 ランドリー	昼食:ソーセージとじゃが芋スープ弁当 夕食:セレクト野菜 肉たっぷりサンド
3月8日 (木)	ハレ市内	6日と同じ	萩原嵩造	昼食:マッシュポテト白身魚フライ弁当 夕食:サプライズ誕生日会 ピザ店
3月9日	ライプチヒ市内	9:00～15:00	予約タクシ	ライプチヒ文化視察

(金)	ハレ市内	17:00~20:00	一2台 送迎車	昼食：レストラン 大会会場で武器検査と練習 ハレ市協会の送迎車 夕食：ケバブー肉そぎ切りサンド
3月10日 (土)	Sporthalle Brandbrge	7:30 8:00 9:30 10:00 15:00表彰式	送迎車	B-youthの試合 A-youth (2005,2006生まれ) (2004生まれ) 武器検査 コール 試合開始 昼食：カフェテリア 夕食：田舎料理店
3月11日 (日)	Sporthalle Brandbrge	7:30 8:00 9:30 10:00 17:00表彰式	送迎車	Cadetsの試合 (2002,2003年生まれ) 武器検査 コール 試合開始 昼食：カフェテリア 夕食：祝勝会フラメンキッシュ、ピザ
3月12日 (月)	ホテル 発 ハレ市内  ライプチヒ発 ミュンヘン着 ミュンヘン発	10:00  12:50 13:50 15:35	送迎車  LH2167  LH714	帰国準備 ホテルからハレ市協会の送迎車でライプチヒ空港へ  国内便ミュンヘンへ  直行便にて羽田へ
3月13日 (火)	東京 (羽田 着)	10:55		通関後、解散

大会責任者  
Olaf Wolf  
E-mail Fechtzentrum-Halle@t-online.de  
Mobile 0049-175-7361547  
phone 0049-345-6876532

ホテル B AND B HOTEL  
HALLE (SAALE)  
住所 Hallorenring 9,6108  
Halle(Saale),Saxony-Anhalt,Germany  
TEL +49 345 27957350

## 5、競技成績

	Name	club	Cadets U-17	a-youth U-14	b-youth U-13
男子	萩原 嵩造	みなとフェンシングクラブ	43位/91		2位/28
男子	清水 康貴	柿の木台スケルマ	68位/91		3位/28
男子	長谷川力玖	中京大学 Jr	75位/91		7位/28
男子	鎌田 晃成	鹿児島 Jr フェンシングクラブ	39位/91		1位/28
女子	飯村 彩乃	京都フューチャーFC	2位/49		2位/27
女子	金高 生幸	香川 Jr フェンシングクラブ	13位/49		3位/27
女子	岸本 鈴	京都フューチャー	16位/49		1位/27

		FC			
女子	高木 愛理	香川 Jr フェンシ ン グ ク ラ ブ	15 位/49		3 位/27

## 6. 日本語アシストについて

☆現地在住の日本人女性（桂川茜さん）は今回で 4 度目の依頼になり益々の力強いサポートを受けた。

毎回ライブチヒ空港の出迎えから対応して頂き安心したキャンプの日々となった。

通訳の仕事の範囲を大きく超えて毎日の生活やトレーニング、大会会場等への交通、文化視察への電車や昼夕食の手配、スーパーの情報提供などいつもながらの気配りに大変感謝している。しかし、気持ち良く対応してくれる桂川さんに頼りきりとなってしまっていることも確かなので次回以降の反省点としたい。

☆今回は旅行会社「旅の匠」添乗員の石上由香里さんに引率と会計を受け持って頂き主に英語でのアシストをしていただいた。

☆過去 3 回の帰国時は常にハレ市 F 協会のクラウディアさんのアシストがあり安心して飛行機に乗り込む事が出来た。今回クラウディアさんはライブチヒ空港までのドライバーとして全員を安全に送り届けて頂いた。

## 7. トレーニングについて

☆スポーツ学校のコーチでもあり、ハレ市強化コーチのハネスさんに昨年同様しっかりとご指導を頂いた。

彼はオリンピック強化拠点のタウバービショフスハイムのジュニア強化コーチもされていたと聞いている。

また同僚のマイクさんが後日オーストリアチームを引き連れての参加となり両名コーチによるバラエティー豊富な導入に興味を湧いた。

トレーニング会場は午前練習と午後練習が別で毎回新鮮な動きに一生懸命取り組んだ。

☆日本国内クラブチームのトレーニングの取り組み方がそれぞれ違うので違和感が見てとれた。ドイツコーチによる専門トレーニングには取り組むが、サッカー、バスケット、グランドホッケー等のレクウォームアップには消極的な子どもが半数以上いた。

## 8. 大会について

☆日本チームとして 16 年もの間参加し続けている伝統のある大会と承知していたが大会の試合方法が当日にならないとわからない点は相変わらずなため、理解が追い付かなかったが直ぐに頭を切り替えて試合に臨むことができた。

☆会場は室内陸上競技場でトラックバンクがありフィールド部に 24 ピストの設置がある

☆初日が東日本大震災の日にあたり大会本部から「日本の為に黙とうを予定しています」と連絡があった。

☆昨年同様一日目の U-13 男子プール対戦表に日本人選手が 2 人も入っていた。

メンバー表がモニターに表示されると直ちに試合がスタートなので DT に確認を取るチャンスがなかったが、通路でコーチのマイクさんと偶然行き会ったので確認をとった。

DT よりコンピュータがランダムに選んだ結果だとの説明を受けたが、マイクさんの

取り計らいにより、二日目の U-17 男子プール対戦表には日本人選手が 2 人入る事はないと約束してくれた。

☆日本チームは総合準優勝をした。

個々の能力が高かったのは確かだが、反面チームワークには課題が残ると感じた。今後の対応を検討していきたい。

## 9、生活について

☆ホテルについては市内の真ん中で電車停留所が目の前という申し分のない立地条件だった。

☆ビジネスホテルだからなのかコインランドリーがなかったので洗濯が出来ず大変困った。

☆ホテル側より部屋を乱雑に使用しているとの注意を受け、直ちに改善を図った。保護者が付いていれば解決する事も多くあるがキャンプの本質を考えると引率コーチが注意を促すべきである。現状ではコーチ 1 名で対応している状況なので、人員の充実を図らなければならない。

## 10、渡航について

☆遠征当初から添乗員の石上さんと通訳の茜さんが連携を取りサポートをしてくれたので大変助かった。

## 11、その他

☆遠征の事前情報が少なく不安に思う保護者もいたので次回以降は詳細な情報伝達に努めていきたい。

☆海外キャンプとして行われたため、仕方のない面もあるが遠征期間が長い。8泊 10 日間は小学 5、6 年生には精神的に厳しいと思われる。

また、体力的には十分配慮したつもりだがまだ小学生なのでコントロールは困難であった。

生活面では、慣れが出始め日本の小学生代表の意識が無くなった頃に、遅刻や用具忘れ等が何度かあったため、厳しい注意を与えざるをえなかった。

## ☆武器検査

マスク、メタルジャケット、グローブ、ビブケーブル（コイル状のものはダメ）  
剣とボディーコードは無し。

ビブが錆で使えずショップでも調達できない事態が発生。対応に苦慮しているとハネスコーチがスポーツ学校、ハレチームの倉庫など奔走して見つけ出し、「頑張って優勝を目指して下さい」とプレゼントしてくれた。こういった事態は今後も起こり得るので出国前に用具について参加者たちに事前に確認してもらう必要があると思われる。

ピスト場で審判員がチェックする場合としない場合があった。

## あとがき

毎日が滞りなく進み安心安全に有意義な時を過ごすことができた。吉澤博通先生を始め保護者の皆様、関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



以上